

# Elazzo

---

## SEAT COVER



## **HONDA** STEP WGN

専用シートカバー取付説明書

# Clazzio

## SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございます。

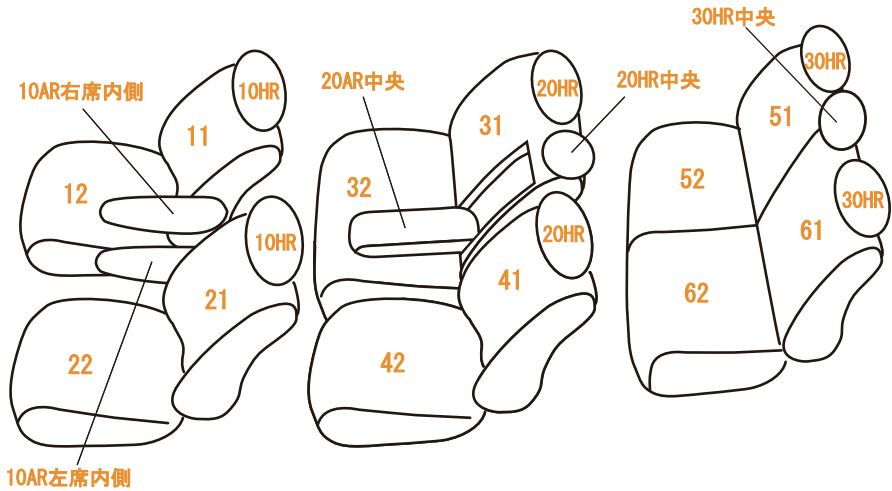
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの  
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

## INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…→ 3P～4P
1 列目座面の装着方法	…→ 5P～7P
1 列目背もたれの装着方法	…→ 8P～12P
2 列目座面の装着方法	…→ 13P～16P
2 列目背もたれの装着方法	…→ 17P～23P
3 列目座面の装着方法	…→ 24P～26P
3 列目背もたれの装着方法	…→ 27P～30P
ヘッドレストの装着方法	…→ 31P～35P
アームレストの装着方法	…→ 35P～38P
完成図	…→ 38P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…→ 39P～40P

## 本製品シート形状とパーツの名称



### 取付必要工具



- ① ソケットレンチ（ソケット・12mm）
- ② 六角レンチ（4mm）
- ③ マイナスドライバー（先端が3mm幅程度の小さいタイプ）
- ④ 両面テープ ※11ページ21番（SPADAグレードのみ）両面テープの使用を推奨しています。両面テープは必要に応じてご用意ください。
- ⑤ プラスドライバー
- ⑥ ヘラ（付属）

この車種は上記の工具を使用します

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。



## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

# Step 1

## …>1列目座面の装着方法

当説明書の1列目の装着方法は、主にSPADAグレード（2022年9月現在）のシートを元にシートカバーの装着説明を行っています。AIRグレード（2022年9月現在）の車両は、一部形状が異なる部分がありますが、同様の装着方法で作業を行って下さい。



- 1 運転席はハイトアジャスターでシートを一番高い位置に調整してからシートカバーの装着を行って下さい。  
シートのラインに合わせて、カバーをシートの前側から後ろ側へかぶせます。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。  
背もたれの角度を調整して、生地を入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 3 シートの背面側から入れ込んだ生地を引き出します。



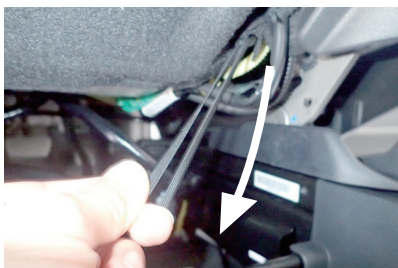
- 4 シートの外側です。  
シートとプラスチックパーツの隙間に固定部材を入れ込みます。  
この際、運転席の前側に付いている固定部材は、プラスチックパーツのフチからさらに奥まで入れ込み、図の点線回りで固定します。  
※助手席はプラスチックパーツのフチまで入れ込み固定します。



- 5 シート外側の後ろ側の固定部材は、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込み、プラスチックパーツのフチで固定します。



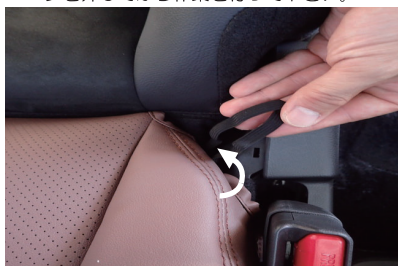
- 6 シート付け根辺りのカバーにゴムが付いています。  
ゴムを図の隙間からシートの裏側へ入れ込みます。



- 7 シート背面の裏側から入れ込んだゴムを引き出します。  
 ※ゴムがなかなか出てこない場合は、6番の隙間にヘラなどを差し込み、ゴムが出てくる位置を確認してから作業を行うと、ゴムを引き出しやすくなります。



- 8 シートの内側です。  
 カバー側面の固定部材は、5番と同様にシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。  
 シートベルトバックルの軸の内側には、カバーに付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。  
 ※助手席はシートベルトバックルの軸部分の隙間が大変狭くなっています。ヘラなどを使用して、生地を入れ込みながら作業を行って下さい。  
 ※マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は保護テープを外してから作業を行って下さい。



- 9 シート付け根辺りのカバーにゴムが付いています。ゴムを図の隙間からシートの裏側へ入れ込みます。



- 10 シート背面の裏側から入れ込んだゴムを引き出します。



- 11 7番・10番で引き出したゴム同士を、付属の金属フックで繋ぐように固定します。



- 12 シートの前側です。カバーに付いている2本のベルトを、スライドレバーの上を通してシートの背面側へ入れ込みます。



13 シートの背面からベルトを引き出します。



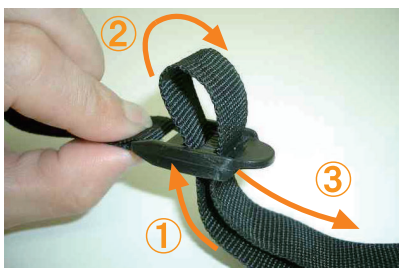
16 シートの背面は図のようになります。



14 ベルトを3番で引き出した生地が付いているバックルに通します。



17 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



15 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引くと縫製糸が切れて、ベルトが抜けてしまう恐れがあるので、注意して下さい。

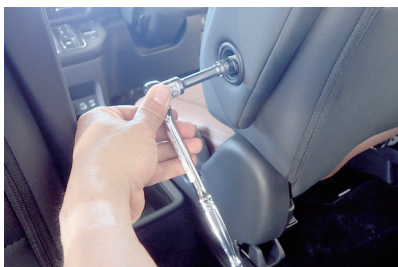


## Step 2

### …>1列目背もたれの装着方法



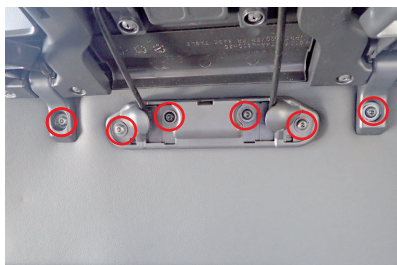
- 1 シートからアームレストを外します。始めにアームレストのキャップを外します。キャップ周りをよく確認していただくと、一部溝のある部分があります。(左下の図を参照)。そちらへ工具を差し込みキャップを外します。使用する工具は先端が細いものを使用して下さい。図ではマイナスの精密ドライバーを使用しています。



- 2 キャップを外すと中にボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。  
※この際、ボルトを回す前のアームレストの角度を覚えておいて下さい。そうするとアームレストをシートに戻す際、アームレストを固定する位置に迷うことがなくなります。ソケットは12mmを使用します。



- 3 ボルトを外すとアームレストが図のように外れます。



- 4 シートバックテーブルを外します。テーブルを起すと、テーブル裏にテーブルを固定しているボルトが6本あります。



- 5 ボルトを六角レンチを使用して外します。六角レンチは4mmを使用します。ボルトを外していく際、テーブルを落させないように押さえながら、慎重に作業を行って下さい。



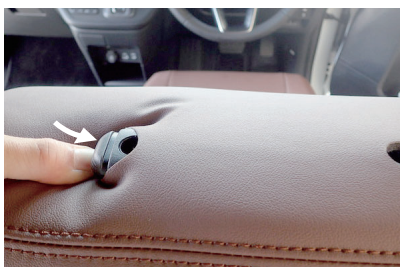
- 6 6本あるボルトを全て外すと、図のようにシートからテーブルが外れます。



- 7 カバー側面のファスナーを開けておきます。カバーをシートのラインに合わせてシート全体にかぶせます。



- 10 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、生地を入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 8 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。始めに台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 11 10番で入れ込んだ生地の両端に付いているマジックテープを、配線を覆っている生地をかわしながら、図の隙間に入れ込みます。



- 9 生地の伸びを利用して台座を取り出します。※革を使用したカバーでは、革がほとんど伸びないため生地の端が裂けてくる場合があります。生地は少し裂けても台座のフチに隠れるので、それ以上裂けないように慎重に作業を行って下さい。



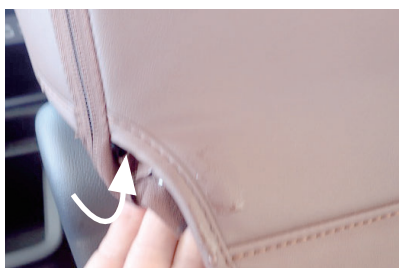
- 12 入れ込んだ生地とマジックテープをシートの背面から引き出します。



- 13 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を12番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



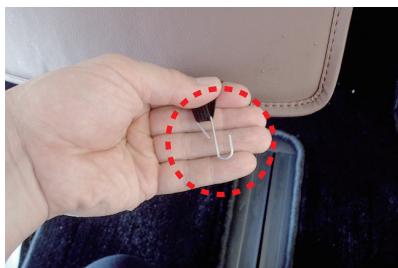
- 14 カバー側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。  
※両端にあるファスナーを片側のみを完全に閉じてしまうと、カバーの装着にずれが生じる場合があります。ファスナーを10センチ程度ずつ左右均等に閉じていくと、カバーがずれることなく装着できます。



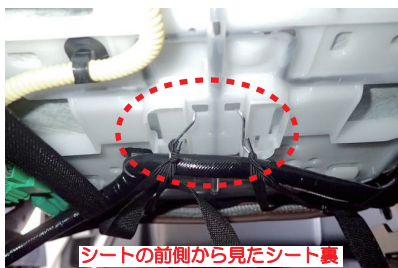
- 15 ファスナーを全て閉じたら、ファスナーの端を折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



- 16 12番で引き出した生地とマジックテープをカバーの背面下と固定します。  
両端のマジックテープは少し長めにしています。適度な位置で固定して下さい。



- 17 カバー背面下の生地にゴムが付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 18 金属フックをシート裏に引っ掛けて固定します。  
金属フックの固定位置に特定の位置はありません。ある程度ゴムに引っ張りが効き、フックが引っ掛かる形状になっている部分に引っ掛けて固定して下さい。  
※シートの後ろ側周りにはあまり固定する部分はありません。シートの前側までフックを持っていき固定して下さい。



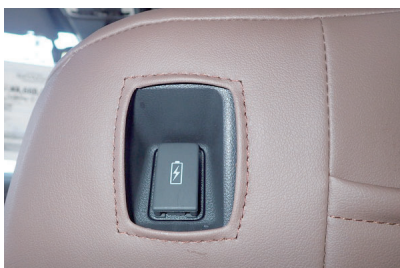


19 シートの背面は図のようになります。



リクライニングした際  
シートのフチに生地が  
引っ掛かる

20 シート背面の生地は、シートを後ろ側へリクライニングすると、生地が端が引っ掛かり図のように折り目ができます。こちらはシートを起こした際の形状を重視して設計しているので、予めご了承下さい。折り目はシートを起こすと元に戻ります。



21 SPADAグレードに装備されているUSBチャージャーの周りは図のようになります。  
※こちらはプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みません。プラスチックパーツを固定しているツメがすぐに外れる為、この仕様になっています。  
加工穴の形状は生地への引っ張り具合により歪んだりずれたりする場合があります。その際は、カバーの装着を見直して下さい。  
プラスチックパーツの枠に両面テープなどを使用して生地を固定すると、よりきれいな形状が保たれます。  
※両面テープは商品に付属していません。必要に応じてご用意下さい。



この角度を意識する

22 シートバックテーブルをシートに戻します。こちらはシートに対してシートバックテーブルを戻す際の角度の参考として確認して下さい。テーブルを固定する角度がずれていると、テーブルが正常に動かなくなる場合があります。シートバックテーブルをシートに戻す際は図の角度を意識して作業を行って下さい。



23 テーブルを固定するボルトの穴位置にカバーの切れ込みを入れてあります。(6箇所)カバーの切れ込みとボルト穴の位置が合っていることを確認して下さい。合っていない場合はカバーの装着がずれている可能性があります。その場合はカバーの装着を見直して下さい。



突起

突起

24 テーブルをシートに戻します。まず中央2か所にある突起部分をシートの穴に入れ込みます。

11P ▶





- 25** 中央2か所のボルトを仮止めして、全てのボルトを均等に固定していきまます。  
 ※この際、**22番**の説明で載せているシートとテーブルの角度を意識して作業を行うようにして下さい。  
 ※またボルトをしっかりと閉めていない状態でテーブルを動かさないようにして下さい。ボルトが緩い状態ではテーブルは正常には動きません。無理に動かそうとするとテーブルが変形や破損する恐れがあるので注意して下さい。



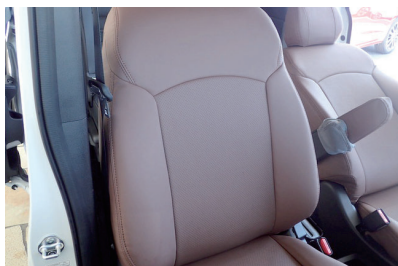
- 26** ボルトを6本共固定すると図のようになります。  
 ※テーブルをシートに固定出来たら、ゆっくりとテーブルを上げ下げして、動作確認を行って下さい。



- 27** シートバックテーブルを戻すと図のようになります。



- 28** シートの背面は図のようになります。  
 ※図はSPADAグレードです。



- 29** カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。  
 助手席も同様に取り付けます。



- 30** AIRグレードの運転席背もたれの完成図です。  
 助手席も同様に取り付けます。

## Step 3

### …>2列目座面の装着方法



- 1 シートベルトのバックルを、固定しているシート地のベルトから抜き出します。



- 2 運転席側のシートには更にゴムでバックルが固定されているので、ゴムからバックルを抜き出します。  
※助手席側にゴムは付いていません。



- 3 シートのラインに合わせて、カバーを前側から後ろ側へかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。  
中央のシートベルトを交わして生地を入れ込んで下さい。



- 5 アームレストの下部部分です。こちらでも背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。  
こちらに載せている①・②・③は15ページの16・17・18番で説明に使用しています。



- 7 シート外側の軸部分です。シートとプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。

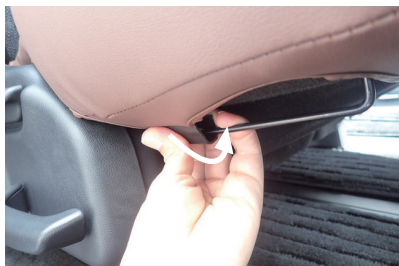


- 10 シート内側です。こちらにも8番同様の固定部材が付いています。固定部材をシートとプラスチックパーツの隙間に押し込み固定します。



- 8 リクライニングレバーの先端辺りです。こちらの生地には固定部材が付いています。固定部材をシートとプラスチックパーツの隙間に押し込み固定します。隙間は大変狭くなっているため、ヘラなどを使用して固定部材を押し込んで下さい。※この際、固定部材を縫い付けている縫い目をヘラなどで突くと、縫い目が切れる恐れがあるので、注意して下さい。

- 11 シート内側のシート裏に回っている生地の端に9番同様の固定部材が付いています。固定部材をシート裏のシート生地を固定しているプラスチックパーツの上に引っ掛けて固定します。※固定位置が純正シート地に覆われている場合があります。その場合は生地をめくり上げて位置を確認して下さい。



- 9 シート外側のシート裏に回っている生地の端に、フック状の固定部材が付いています。固定部材をシート裏の金属のフレームに引っ掛けて固定します。

- 12 シート前側のシート裏です。生地の端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。





- 13 2番でシートベルトのバックルを抜き出したゴムを、カバーの加工穴に通して引き出します。  
※こちらの作業は運転席側のみ行います。



- 14 シートベルトのバックルに図のカバーに付いているベルトと13番で引き出したゴムを通します。



- 15 運転席側のシートベルトのバックル部分は図のようになります。



- 16 シートの背面側です。  
6番③の生地裏に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 17 6番②の生地です。  
こちらでも生地裏に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 18 6番①の生地です。  
17番でシートに貼り付けた生地の端に付いているメスのマジックテープを、上から抑えるように固定します。  
端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



19 シートの背面側は図のようになります。



22 助手席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



20 シート中央のシートベルトのバックルが出ているシートのフチに、生地を入れ込みます。この際生地の端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



21 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。

#### 使用上の注意事項



23 運転席側・助手席側のシートベルトのバックル部分は、必ず図のように固定して下さい。



24 シートベルトのバックルが、ベルトから抜き出た状態で使用していると、シートをスライド時に、図のようにバックルがシートに当たり、最悪の場合破損する可能性があります。バックルはしっかりベルトに固定した状態にしておくようにして下さい。

## Step 4

### …>2列背もたれの装着方法



- 1 中央のシートベルトが出ている箇所のプラスチックパーツを外します。シートベルトを上へ上げるとネジが2本あります。プラスドライバーを使用してネジを外します。



- 2 プラスチックパーツをヘラなどを使用して矢印の方向へ押し、プラスチックパーツを固定している後ろ側のツメを外れます。



- 3 プラスチックパーツの隙間にシートベルトを通します。



- 4 プラスチックパーツが図のように外れます。



- 5 シートカバーを装着します。カバー背面のファスナーを開いて中央のシートベルトの内側にカバーを通します。



- 6 カバーをシートのラインに合わせて、シート全体にかぶせます。

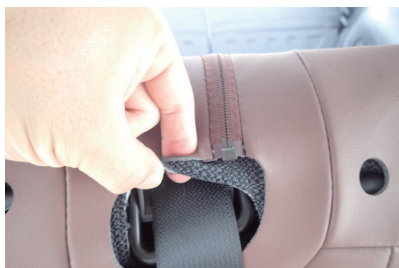




- 7 始めに開いておいたファスナーを、生地を内へ寄せながら10センチ程度閉じます。この時点では、まだ完全にファスナーを閉じる必要はありません。



- 10 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 8 2番で外したプラスチックパーツのツメを通す穴が、カバーと純正シート地にあります。この穴の位置が合っていることを確認します。



- 11 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



- 9 ヘッドレストの台座を全て取り出します。



- 12 7番で10センチ程度閉じていたファスナーを、生地を内へ寄せながら完全に閉じます。



- 13 ファスナーの端はカバーの内側ではなく、純正シート地の内側へ入れ込みます。こうすることでファスナーの端がはみ出しにくくなります。



- 16 運転席側の背面です。  
11番で引き出した生地とカバーの背面をマジックテープで固定します。



- 14 アームレストがあるシートの背面側です。  
11番で引き出した生地とカバーの背面をマジックテープで固定します。



- 17 カバーを固定したシート背面側は図のようになります。

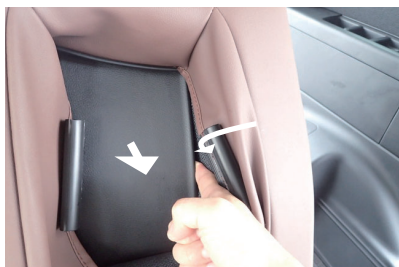


- 15 シートベルトが出ている内側です。こちらはプラスチックパーツのフチに生地を添わせて、マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 18 シート外側の付け根部分です。シートの一番外側にある軸部分には生地が被らないようにします。

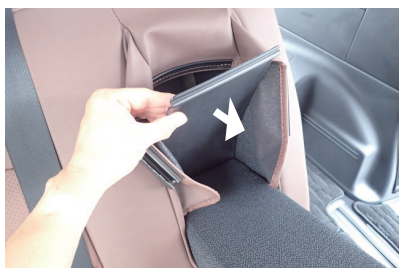




- 19** アームレスト収納部のプラスチックパーツの上側の固定を外します。  
 まずプラスチックパーツの中央辺りに図のように指を引っ掛けて手前に引きます。こうすることでプラスチックパーツが反り返り、プラスチックパーツ裏側のツメが外れます。



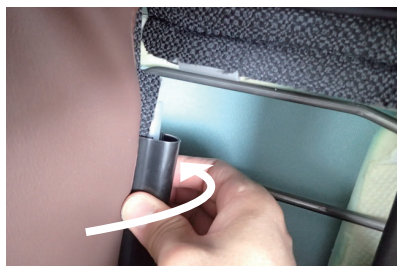
- 20** 19番の状態からプラスチックパーツの上側を引くと、プラスチックパーツの上側がシートから外れます。



- 21** プラスチックパーツの固定が外れました。  
 ※下側の固定を外す必要はありません。  
 プラスチックパーツの上側を図のように引き出します。



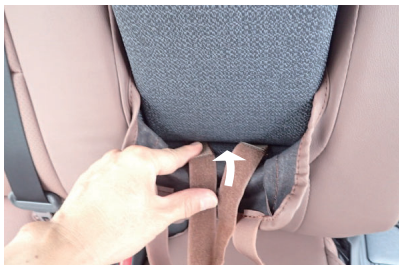
- 22** アームレスト収納部両端のカバーに固定部材のフックが付いています。  
 フックを図のように引っ掛けて固定します。



- 23** 反対側のフックも同様に固定します。



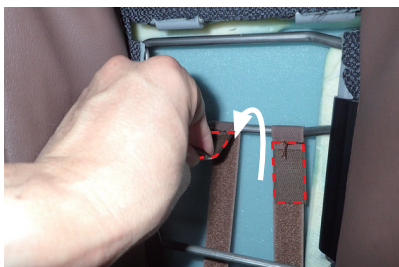
- 24** アームレストの付け根部分のカバーには図のようにマジックテープのベルトが2本付いています。



- 25 マジックテープベルトの先端を、ベルトが捻じれないように注意してアームレスト下の隙間から奥へ入れ込みます。この際ベルトが付いている生地部分も同様にアームレスト下の隙間から奥へ入れ込んで下さい。



- 26 入れ込んだマジックテープのベルトを図のように収納部内側から引き出します。



- 27 引き出したベルトを収納部の奥にある金属のフレームに巻き付けます。



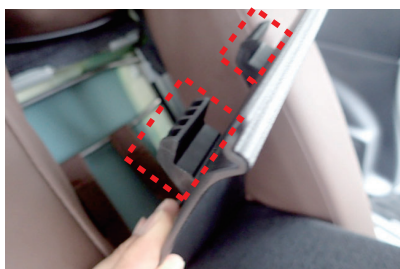
- 28 金属のフレームに巻き付けて、先端のオスのマジックテープを折り返し、メスのマジックテープに貼り付けて固定します。



- 29 アームレスト下側の生地にシワなどが寄っている場合は、シートに馴染ませるように整えます。



- 30 アームレスト収納部の上側のカバーには固定部材が付いています。こちらは21番で外したプラスチックパーツで挟み込み固定するので、収納部の奥へ入れ込んでおきます。



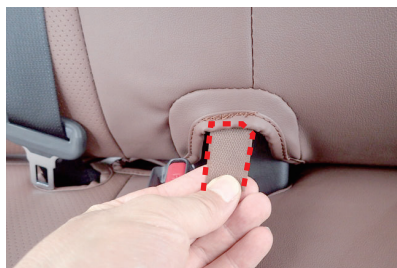
- 31 プラスチックパーツを元通りに固定します。プラスチックパーツの裏側のツメの位置を確認して、ツメを引っ掛けることを意識して元に戻します。



- 34 アームレストをシートに戻した状態では図のようになります。



- 32 プラスチックパーツを反り返らせながらツメを引っ掛けます。またこの際30番の固定部材もプラスチックパーツの裏側に来るようにします。



- 35 シート中央の軸部分の生地に、マジックテープが付いています。



- 33 プラスチックパーツを固定出来たら、アームレスト収納部の生地を再度整えなおして下さい。



- 36 マジックテープを軸の内側へ入れ込み、直接シートに貼り付けて固定します。またその周りの生地も軸周りに沿わせるように入れ込みます。



- 37 始めに外したプラスチックパーツを元に戻します。  
まずプラスチックパーツ裏のツメの位置を確認して下さい。



- 40 プラスチックパーツ周りは図のようになります。



- 38 ツメの位置を意識してシートカバー・純正シート地の穴に通してツメを固定します。



- 41 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。  
※2列目アームレストの装着方法は37ページから確認して下さい。



- 39 ネジをドライバーを使用して固定します。



- 42 助手席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



## Step 5

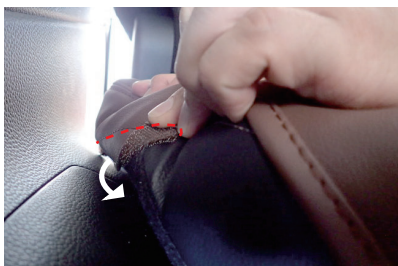
### …>3列目座面の装着方法



- 1 シートの外側からカバーの装着を行います。始めにシート外側の後ろ側と側面に生地を入れ込みます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



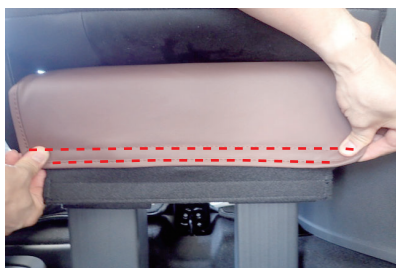
- 2 入れ込んだ生地の端に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 5 シートの背面側から入れ込んだ生地を引き出します。



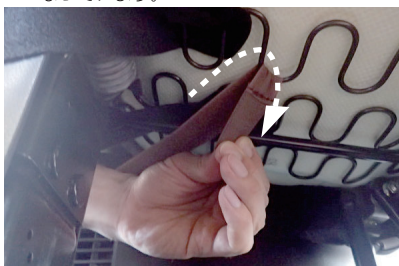
- 3 外側で固定した部分を軸として、カバーをシート全体にかぶせていきます。



- 6 引き出した生地の端に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 7 カバーの前側に3本のマジックテープのベルトが付いています。マジックテープのベルトは付け根から先端手前までがメスのマジックテープ、先端（図の赤線部分）がオスのマジックテープになっています。



- 8 マジックテープのベルトをシートの裏へ入れ込みます。ベルトの先端をシート裏の金属フレームに巻き付けるように通します。

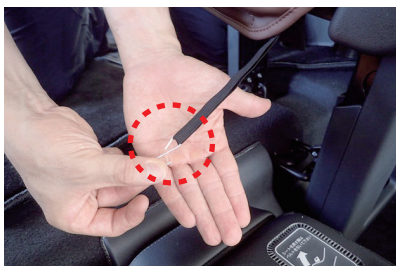


オスのマジックテープをメスのマジックテープに固定する

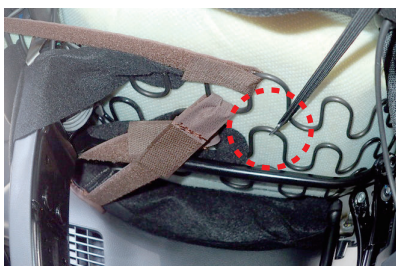
- 9 マジックテープのベルトを金属フレームに巻き付けて、先端のオス部分を折り返してメスのマジックテープに固定します。3本共同様に固定します。



- 10 シート内側の裏側です。カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



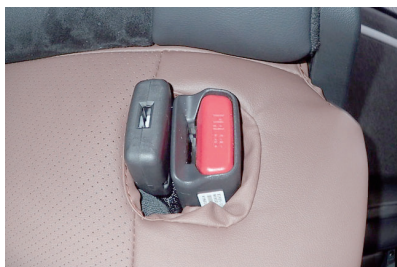
- 11 10番でマジックテープを固定した生地の後ろ側にゴムが付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 12 金属フックをシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 13 シートベルトのバックル部分です。カバーに付いているゴムを運転席側用のバックルに通します。



- 16 中央席のシートベルトを使用する際は、カバーの内側からバックルを取り出して使用して下さい。



- 14 ヘラなどを使用して生地をシートベルトバックルが収納されているシートのフチに入れ込みます。



- 17 カバーのラインを整えて、3列目運転席側座面の完成です。助手席側は18番のマジックテープのベルトのみ別途確認して下さい。その他は運転席側と同様の固定方法で取り付けます。



- 15 生地を全て入れ込むと図のようになります。



- 18 助手席側の前側です。助手席側のカバーで一番シートの内側に付いているマジックテープのベルトは、固定する金属フレームが少し遠い位置にあります。シートの軸の後ろ側を通して金属フレームに固定して下さい。



## Step 6

## …>3列目背もたれの装着方法



1 シート背面のボードを起しておきます。



4 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



2 カバー側面のファスナーを開き、カバーをシートにかぶせていきます。カバー背面の開口部に1番で起こしたボードを通します。



5 ヘッドレストの台座を取り出します。

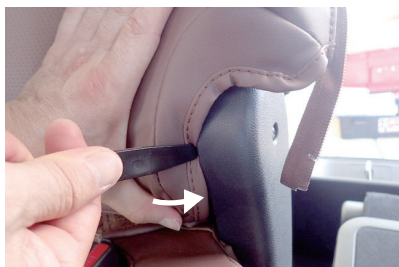


3 シートの先端にあるリクライニング用ベルトをカバーの加工穴から取り出します。

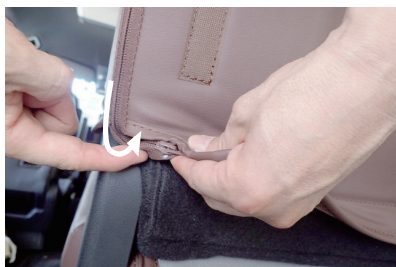


6 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。





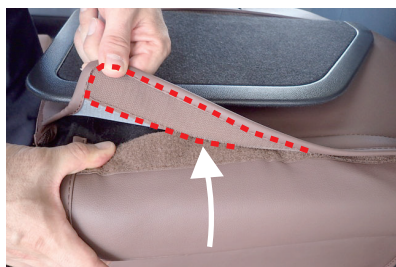
- 7 シートの両端の軸部分にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 10 ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



- 8 シートの背面側から入れ込んだ生地を引き出します。



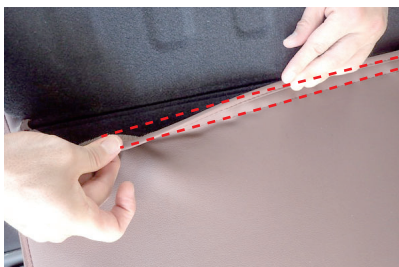
- 11 8番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



- 9 カバー内側面のファスナーを生地同士を寄せ合いながら慎重に閉じます。



- 12 シートの背面側は図のようになります。



- 13 ボード裏側の付け根部分です。カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 16 プラスチックパーツを固定すると図のようになります。プラスチックパーツの継ぎ目部分はベルトの裏側に来るようになります。

板状のプラスチックパーツ



フック状のプラスチックパーツ

- 14 シート背面のシートを格納状態から持ち上げる際に使用するベルト部分です。ベルトの内側からフック状の固定部材が付いた生地を通して、板状のプラスチックパーツを固定します。



- 17 シート背面のボードの付け根部分です。こちらのカバーは、生地からオスのマジックテープがはみ出て付いています。ヘラなどを使用してマジックテープをボード付け根の隙間に押し込み、直接シートに貼り付けて固定します。

生地と一緒に折り返す



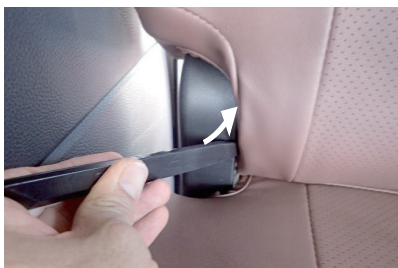
- 15 プラスチックパーツの固定方法は、フック状のプラスチックパーツに板状のプラスチックパーツを生地と一緒に折り返してはめ込み固定します。



- 18 シート背面の上側は図のようになります。



- 19 シート背面のボードを固定するマジックテープの位置がカバーのマジックテープの位置と合っていることを確認して下さい。



- 20 シートの軸部分です。こちらはシートを動かしていると生地が表に出てきやすい部分になります。ヘラなどを使用してしっかりと生地を入れ込んで下さい。



- 21 カバーのラインを整えて、3列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



- 22 こちらは運転席側がカバーを装着した状態で助手席側はカバーを未装着の状態シートを格納しています。カバーを装着してすぐでは、シート背面のボードを2列目側に倒した際、図のように浮きます。



- 23 カバーを装着後、ボード部分を床側に押し付けます。こうすることにより、カバーがよりシートに馴染み、ボードの浮きが押さえられます。



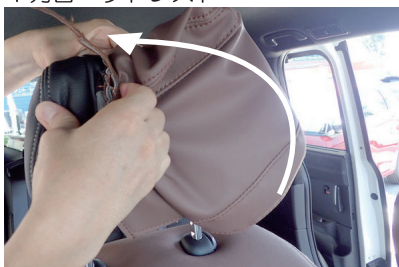
- 24 23番の作業を行うとボードの浮きが改善されます。



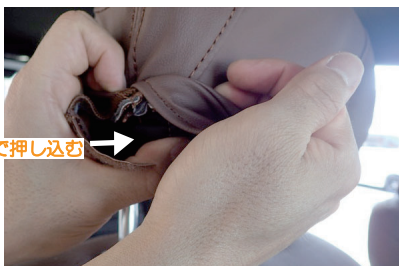
# Step 7

## …>ヘッドレストの装着方法

### 1 列目ヘッドレスト

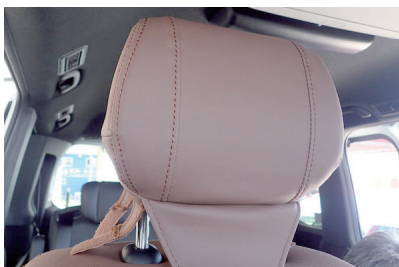


- 1 カバーをヘッドレストの片側にしっかりとかぶせます。かぶせた部分を軸としてヘッドレスト全体にかぶせていきます。カバーは平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



指で押し込む

- 2 カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。横幅の広いヘッドレストなので全体にかぶせていく際、きつくなる部分があります。指でヘッドレストの角を押し込みながら、カバーを慎重にかぶせて下さい。



- 3 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせることができたなら、カバーのラインを整えます。



- 4 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストの裏側で生地を内へ寄せ合いながらマジックテープを固定します。



- 5 ヘッドレストの裏側でプラスチックパーツを固定します。



生地と一緒に折り返す

- 6 プラスチックパーツの固定方法は、フック状のプラスチックパーツに板状のプラスチックパーツを生地と一緒に折り返してはめ込み固定します。



7 ヘッドレストの裏側は図のようになります。



8 ヘッドレストをシートに固定します。カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。

## 2列目ヘッドレスト



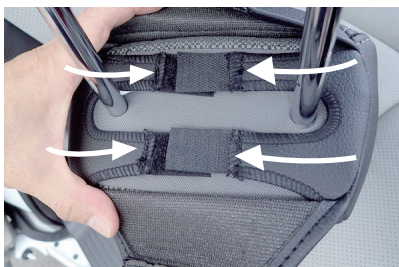
1 2列目両サイドのヘッドレストです。2列目のヘッドレストは、まず図のようにカバーを半分ほど裏返した状態で、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。カバーは板状のプラスチックが付いている方が前側になります。



2 折り返していた部分を少しずつ引き下げ、カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。下側が広いヘッドレストなので全体にかぶせていく際、きつくなる部分があります。指でヘッドレストの本体を押し込みながらカバーを慎重にかぶせて下さい。



3 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせることができれば、カバーのラインを整えます。



- 4 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストの裏側で生地を内へ寄せ合いながらマジックテープを固定します。



- 5 ヘッドレストの裏側で1列目ヘッドレストと同様にプラスチックパーツを固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 6 ヘッドレストをシートに固定します。カバーのラインを整えて、2列目両サイドのヘッドレストの完成です。

## 2列目中央ヘッドレスト



- 1 2列目中央のヘッドレストは、図のように助手席側の側面にカバーを引っ掛けるようにかぶせて、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせていきます。



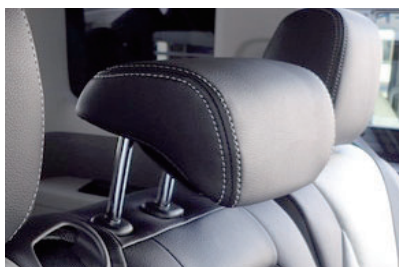
- 2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせることができれば、カバーのラインを整えます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストの裏側で生地を内へ寄せ合いながらマジックテープを固定します。



- 4 1列目、2列目両サイドのヘッドレストと同様にプラスチックパーツを固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 5 ヘッドレストをシートに固定します。カバーのラインを整えて、2列目中央ヘッドレストの完成です。

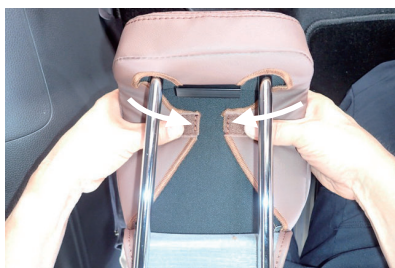
### 3列目ヘッドレスト



- 1 3列目両サイドのヘッドレストです。3列目のヘッドレストは、まずヘッドレスト後ろ側の形状に沿ってカバーをかぶせませす。後ろ側を軸にヘッドレスト全体にかぶせていきます。



- 2 ヘッドレストの先端にカバーを引っ掛けるようにして、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせませす。ヘッドレスト全体にカバーをかぶせることができれば、カバーのラインを整えます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストの裏側で端にマジックテープの付いた生地を内へ寄せませす。





- 13 内側へ寄せたマジックテープに、板状のプラスチックパーツの付いている生地マジックテープを押しえ付けるように固定します。



- 14 1列目ヘッドレストと同様にプラスチックパーツを固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 15 ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて3列目ヘッドレストの完成です。中央のヘッドレストも形状は異なりますが同様の固定方法で取り付けます。

## 1列目アームレスト



- 1 アームレストをシートに戻します。アームレストはシートから外した位置で取り付け直します。  
※キャップの戻し忘れに注意して下さい。



- 2 アームレストのカバーを加工穴の部分から図のように裏返しておきます。



- 3 2番の状態からカバーをかぶせていきます。アームレストの先端まで生地がしっかりと張るようにカバーをかぶせます。

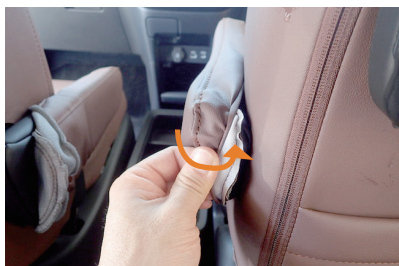




- 4 アームレストのラインに合わせて、カバーをアームレスト全体にかぶせます。



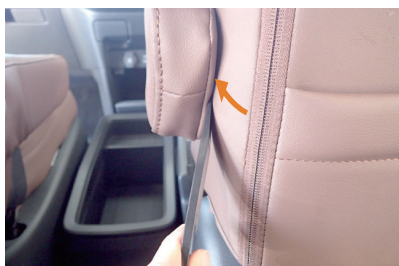
- 7 アームレストの角度を変えながら、生地を入れ込んでいって下さい。



- 5 アームレストの軸部分にカバーを引っ掛けるようにかぶせます。  
この際、生地が反り返らないように注意して作業を行って下さい。



- 8 カバーのラインを整えて、1 列目アームレストの完成です。

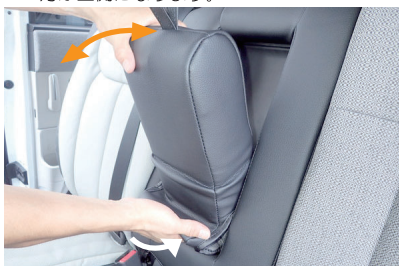


- 6 軸部分は隙間が狭くなっています。  
ヘラなどを使用して生地をしっかりと入れ込んで下さい。

## 2列目アームレスト



- 1 カバーの入り口を裏返して、アームレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。アームレスト先端の生地がしっかりと張るようにかぶせて下さい。カバーは板状のプラスチックが付いている方が上側になります。



- 2 アームレスト全体にカバーをかぶせて、アームレスト下の隙間から端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。こちらは隙間が大変狭くなっています。図のように下側の生地を入れ込みながら、アームレストの先端を持ち、倒す→起こすと繰り返していくと、生地が奥へと入り込んでいきます。



- 3 生地をある程度入れ込めたら、アームレスト下の生地が引っ掛かっていないか確認して下さい。生地が引っ掛かるような状態になっていた場合は、図のように整えて下さい。



- 4 アームレストを倒して固定部材の端が出てきたら、慎重に引き出します。



- 5 アームレストをプラスチックパーツで固定します。プラスチックパーツの固定方法は31ページ6番を参考にして下さい。



- 6 プラスチックパーツを固定すると図のようになります。

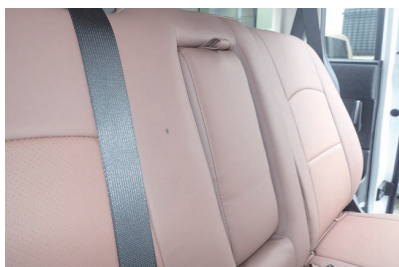
## 完成図



7 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



1列目



8 アームレストをシートに戻した状態の完成図です。



2列目



3列目



## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000



## …> 生地別メンテナンス方法

### ウルトラスエード

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

#### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



### ファブリック

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



[www.11i.co.jp](http://www.11i.co.jp)

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816